

第二次佐久市農業振興ビジョン改訂 概要

1 農業振興ビジョンの位置づけ

第二次佐久市総合計画における農業・農村の振興発展に向けた具体的な取組を示す計画として平成29年3月に策定

2 計画期間

平成29年度～令和8年度
(2017年)～(2026年)

3 目標像

快適健康都市を支える農の力
「産業としての農業」「暮らしとしての農業」の確立

4 改訂について

目まぐるしく変化する農業情勢に対応するため、基本的な方向性は維持しつつ、5年経過した中間年で見直しを行うこととしている

6 現状と課題

人

基幹的農業従事者の状況（農林業センサス）

区分	佐久市			県と国の状況(2020年)	
	2020年	2015年	増減率	長野県	全国
農業従事者数	2,786人	3,982人	▲30%	▲24%	▲22%
上記の平均年齢	70.9歳	70.7歳	-	69.4歳	67.8歳

5年間で3割も農業従事者が減少しており、地域農業を担う経営体の育成・確保が急務

基幹的農業従事者の年齢別階層状況（農林業センサス）



何も手立てしなければ、5年後には、農業従事者の4割以上が80歳以上に

農地

耕地面積の推移と1経営体当たりの耕地面積（農林業センサス）

区分	佐久市			県と国の状況(2020年)	
	2020年	2015年	増減率	長野県	全国
経営耕地面積	3,449ha	3,850ha	▲10.4%	▲9.2%	▲6.3%
1経営体当たりの耕地面積	127a	107a	18.7%	151a	305a

5年間で400haも減少
国や県に比べ減少率が高い

離農農家等の農地を既存の経営体が規模拡大に活かしているが、更なる規模拡大には円滑な農地の集積・集約の仕組みが必

耕作放棄地の状況（佐久市農政課推計）

区分	佐久市		増減	
	2020年	2015年	面積	率
耕作放棄地面積	1,954ha	1,778ha	176ha	9.9%

生産

主な農業産出額の状況（農林水産省市町村別農業産出額）

区分	産出額				県と国の状況(2019)	
	2019年	比率	2014年	比率	長野県	国
米	452千円	40.1%	380千円	36.6%	18.5%	19.6%
野菜	329千円	29.2%	313千円	30.2%	32.0%	24.2%
果実	60千円	5.3%	56千円	5.4%	29.1%	9.4%
肉用牛	81千円	7.2%	79千円	7.6%	2.5%	8.9%
牛乳	45千円	4.0%	46千円	4.4%	4.0%	8.6%
鶏卵	25千円	2.2%	23千円	2.2%	0.5%	5.1%
全体	1,126千円	100.0%	1,037千円	100.0%	100.0%	100.0%

米偏重傾向となっているが、米価下落を受け、更なる省力化による規模拡大や野菜などの複合経営による経営安定が求められる。果樹栽培に適した産地として再構築が必要

農村

総世帯に占める農家率の状況（農林業センサス・国勢調査）

区分	佐久市			県と国の状況(2020)	
	2020年	2015年	増減率	長野県	全国
総世帯数	39,924	38,487	3.7%	832,097	55,830,154
総農家数	6,017	7,014	▲14.2%	89,786	1,474,079
農家率	15.1%	18.2%	-	10.8%	2.6%

佐久市は農家率が高いことに加えて、伝統食や豊かな田園風景などは市民の生活に潤いを与えている

環境保全型農業直接支払対象面積の推移（佐久市農政課推計）

区分	佐久市		増減	
	2020年	2016年	面積	率
取組面積	37.5ha	26.9ha	10.6ha	39.4%

中山間地域において、環境にやさしい農業の取組が拡大

7 重点方針 / 具体的な取組内容

佐久市農業をけん引する担い手と地域農業を支える多様な人材の確保・育成

- ・佐久市が求めている新規就農者を明確にした誘致の実施（品目、地域、年齢など）
- ・果樹を中心に離農する農家と新規就農希望者とのマッチングによる経営継承の推進
- ・認定農業者の法人化や経営改善を進めるスマート農業システムの導入など担い手農家の経営の効率化と規模拡大の推進
- ・女性の活躍を推進するため、農業経営における女性の役割と分担を明確にする家族経営協定の締結と認定農業者の共同認定の推進
- ・人生100年時代を見据えて、定年退職者など高齢者の就農や果樹や花き栽培における作業支援などライフプランにあった農業での活躍を支援

農地の維持と適正利用の推進（使える農地を使えるうちに使いたい人へ）

- ・農業委員会など関係機関と連携して、農業者などによる将来の地域農業のあり方等の話し合いを進め、地域農業の未来予想図となる「人・農地プラン」の充実
- ・「人・農地プラン」に基づく、地域農業の担い手への農地の集積・集約の推進
- ・特長ある農業利用と集団的な優良農地を維持するため、「佐久市農業振興地域整備計画」の適正運用
- ・ほ場整備済みの農地など利用が見込める耕作放棄の再生と営農利用を支援
- ・農業所得の確保と営農継続による耕作放棄を防止するため、野生鳥獣による被害防止対策の徹底

スマート農業の導入実践と果樹の再構築等バランスの取れた産地構造への転換

- ・稲作の更なる省力化と規模拡大を進めるため、ドローンや自動畦畔草刈機などのスマート農業の導入促進
- ・企業など多様な主体による水田地帯における施設園芸の導入を支援
- ・シャインマスカットなどの皮ごと食べられるぶどうとすもも「シナノパール」の産地化の推進とりんご・プルーンの新技术の導入など果樹再構築への取組強化
- ・伝統食でありブランドである佐久鯉と小鮒の更なる認知度の向上と生産拡大
- ・佐久市産米など海外における佐久ブランドの定着を狙った農産物輸出の取組
- ・学校給食等における子供たちや市民への食育と地産地消の推進

農業農村の多面的機能の維持と環境にやさしい農業の取組拡大

- ・農業農村にまつわる食文化や伝統的な芸能の伝承を支援
- ・田園空間の基盤となる農業用水路や農道など農業施設の市民参画による維持管理の活動を支援
- ・良好な田園風景など中山間地域の多面的機能の維持に向けた活動を支援
- ・市民の農に触れる機会の創出とグリーンツーリズムの推進による関係人口の増加を図る都市部住民との交流活動の取組を支援
- ・有機農業など持続性の高い環境保全型農業を積極的に推進

5 情勢の変化

農業情勢の変化を確実に捉え時代に合ったビジョンへ

主な内外環境の変化

- ▷ 高齢化、人口減少の進行
- ▷ 新型コロナウイルス感染症のまん延による
 - ・美味しい食材や機能性の高い食材利用など家庭食の充実等の価値観の変化
 - ・在宅勤務等の取組による地方回帰への意識の高まりなどライフスタイルの多様化
- ▷ 異常気象の影響によるこれまでにない台風や降霜などの気象災害による所得の減少
- ▷ AIやIot、ロボットなどスマート技術開発の進展
- ▷ TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定など農畜水産物の国際貿易の活発化
- ▷ SDG'sによる農業分野での温室効果ガスの発生抑制や持続的な農業への取組の強化

国、県の動向

- ▷ 国における農業農村振興の基本指針である「食料・農業・農村基本計画」の策定（農林水産省 R2.3月）
- ▷ 農業分野でのSDG'sの取組を進める「みどりの食料システム戦略」の策定（農林水産省 R3.5月）
- ▷ 県における農業農村振興の基本計画である「第3期長野県食と農業農村振興計画」の策定（長野県農政部H30.3月）

ビジョンに反映